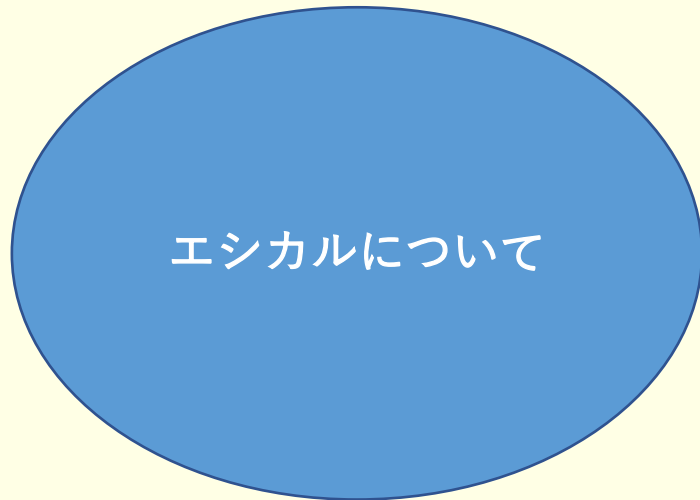


「エシカル」とは英語で「論理的な」という意味で、法律の縛りはないけれども多くの人が正しいと思うこと、または人間が持つ良心から発生した社会的規範を意味します。そこから派生して、今では、人や社会、地球環境、地域に配慮した考え方や行動のことを指すようになりました。



エシカルとは？

エシカル消費

- ・最近日本で注目され始めているのが、「エシカル消費」
- ・私たちの食べるもの、着るもの、使うもの、すべて誰かが作ってくれたものです。
- ・しかしその背景には、劣悪な環境で働かされる生産者や、教育を受けられず働かされる子供、美しい自然や動植物たちが犠牲になっているかもしれません。
- ・エシカル消費ではオーガニック/リサイクル商品を利用して環境に優しい
→化学物質を用いないから環境にも肌にも優しいメリットがある
動物実験を行わない製造過程もそのひとつ
- ・「エシカル消費」とはそういったことのない商品を購入する、「優しい消費」のことです。

今までの活動

私たちの今までの活動としては順を追って説明していきたいと思います。

まず2015年にエシカルファッションショーというものをリブラ・レベッカ・ピープルツリー・パタゴニア・三陽商会・ナデルのようなブランド様達にご協力しながら開催しました。また株式会社フェアトレードコットンイニシアティブ様とコラボしてエコバックの開発も行いました。(下の写真)

2016年にはNTTデータ様、分かち合いプロジェクト様、フェアトレードラベルジャパン様、H.I.S様、フェアトレードコットンイニシアティブ様、ピープルツリー様、エシカル協会様など多数の企業にご協力して頂き、代表の方にご登壇して頂いたりしました。

2018年度は三鷹フェスからお声がかかり、フェアトレードの紅茶やエコバッグ等を販売しました。(上の写真)

FTSN

FTSNとは、Fair Trade Student Networkの略です。全国に6つの支部があり、Anchorはその中の関東支部に参加しています。

これはFTSNのイベントに参加した際の写真です。(右の写真)このイベントでは、ケニアのバラを扱うAFRIKA ROSEというフェアトレードの会社のバラについて学び、ラッピングするというワークショップに参加しました。フェアトレードだから低品質でもしょうがないという考えではなく、フェアトレードであり高品質であるということを目指した企業の考えや取り組みを知ることができ大変、有意義な時間でした。



Anchor オリジナル

Fair Trade エコバック

ちょっとしたお買い物に！
サブバックとして！

¥500

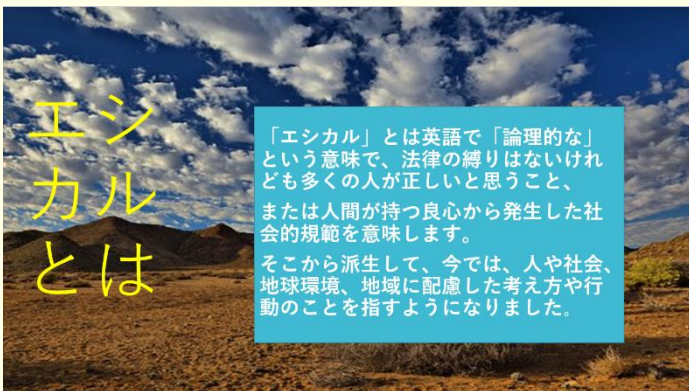
好評発売中！

(株)フェアトレードコットンイニシアティブ



エシカルについて

エシカルとは？



エシカル消費

- ・最近日本で注目され始めているのが、「エシカル消費」
- ・私たちの食べるもの、着るもの、使うもの、すべて誰かが作ってくれたものです。
- ・しかしその背景には、劣悪な環境で働かされる生産者や、教育を受けられず働かされる子供、美しい自然や動植物たちが犠牲になっているかもしれません。
- ・エシカル消費ではオーガニック/リサイクル商品を利用して環境に優しい
→化学物質を用いないから環境にも肌にも優しいメリットがある
動物実験を行わない製造過程もそのひとつ
- ・「エシカル消費」とはそういったことのない商品を購入する、「優しい消費」のことです。

今までの活動



私たちの今までの活動としては順を追って説明していきたいと思います。

まず2015年にエシカルファッションショーというものをリブラ・レベッカ・ピープルツリー・パタゴニア・三陽商会・ナデルのようなブランド様達にご協力しながら開催しました。また株式会社フェアトレードコットンイニシアティブ様とコラボしてエコバッグの開発も行いました。

2016年にはNTTデータ様、分かち合いプロジェクト様、フェアトレードラベルジャパン様、H.I.S様、フェアトレードコットンイニシアティブ様、ピープルツリー様、エシカル協会様など多数の企業にご協力して頂き、代表の方にご登壇して頂いたりしました。

2018年度は三鷹フェスからお声がかかり、フェアトレードの紅茶やエコバッグ等を販売しました。

FTSN



FTSNとは、Fair Trade Student Networkの略です。全国に6つの支部があり、Anchorはその中の関東支部に参加しています。

これはFTSNのイベントに参加した際の写真です。このイベントでは、ケニアのバラを扱うAFRIKA ROSEというフェアトレードの会社のバラについて学び、ラッピングするというワークショップに参加しました。フェアトレードだから低品質でもしょうがないという考えではなく、フェアトレードであり高品質であるということを目指とした企業の考えや取り組みを知ることができ大変、有意義な時間でした。